

別表：製造業分野における韓国企業の対米直接投資事例（2023年1月～2024年9月）

年・月	韓国企業名	総投資額	概要
2023年1月	ロッテバイオロジクス	1億6,000万ドル	同業のブリストル・マイヤーズスクイブのバイオ医薬品生産工場（ニューヨーク州シラキュース）を買収。生産拡大に向けて、工場の増設計画を発表予定。
	エコプラスチック	2億500万ドル	自動車用プラスチック部品製造の同社はジョージア州ブロック郡に、バンパー、コンソール、トリムなどのEV向け部品工場を建設することを発表。工場建設地は現代自動車グループのEV専用工場に近接。
	ハンファソリューション（Qセルズ部門）	3兆2,000億ウォン	ジョージア州カーターズビルに原料から最終製品まで一貫生産できる工場（生産能力は発電能力換算で年産3.3GW）を新設。また、既存のダルトン工場の生産能力を年産1.7GWから3.1GWに増強。インフレ削減法による税制優遇に期待。
	LGエナジーソリューション	資本金 2億1,000万ドル	ホンダとの合弁でオハイオ州ジェファーソンビルに車載電池工場を建設（出資比率はLGエナジーソリューション51%、ホンダ49%）。年間生産能力は40GWhで、2024年末までの建設完了を目指す。製品は全量、ホンダの北米工場に供給予定。
	LG化学	5億7,100万ドル	米国現地法人を通じ、バイオ医薬品企業のアベオ・ファーマシューティカルズを買収。抗がん新薬パイプラインをアベオ・ファーマシューティカルズに移管し、米国で商業化を加速する計画。
2023年2月	SDバイオセンサー	約2兆ウォン	体外診断用製品の同社は、同業のメリディアン・バイオサイエンスを買収。メリディアン・バイオサイエンスの流通網を活用し、米国などでの販売拡大を狙う。
	サムギEV	129億7,700万ウォン	自動車用アルミダイカスティング製品などを製造する同社は、インフレ削減法や米国・メキシコ・カナダ協定（USMCA）対応などに伴う米国生産拠点確保のため、米国現地法人に追加出資。
	SKオン	2兆504億ウォン	フォードとの合弁会社設立のための現地法人の有償増資に対応。
2023年3月	SKイノベーション	5,000万ドル	燃料電池システム開発のアモジーに追加投資。炭素排出削減に向けたコア技術基盤の確保を目指す。
	LGエナジーソリューション	7兆2,000億ウォン	アリゾナ州クイーンクリークに車載用円筒型電池工場とエネルギー貯蔵システム（ESS）用パウチ型LFP電池工場を建設することを決定。インフレ削減法施行により顧客からの要請が高まったことに対応。
	ハンファ先端素材	1億4,700万ドル	ジョージア州に太陽光モジュール用エチレン酢酸ビニル共重合樹脂（EVA）シート工場を建設。生産品はハンファソリューション（Qセルズ部門）の州内の工場に供給する予定。
2023年4月	ロッテバイオロジクス	4,800万ドル	ニューヨーク州シラキュースにあるバイオ医薬品生産工場に追加投資。生産設備の増設、完成品医薬品・抗体薬物複合体などの事業を拡大。
	サムスンSDI	30億ドル超（サムスンSDI、GM合計）	ゼネラルモーターズ（GM）との合弁で車載電池工場（年産30GWh以上）を建設する計画を発表、2026年量産を目指す。（その後、2024年8月の合弁会社設立契約締結時の発表では、投資額は約35億ドル、工場立地はインディアナ州ニューカーライル、生産規模は年産27GWh、量産開始目標は2027年と発表。）
	現代自動車グループ、SKオン	50億ドル（双方合計）	ジョージア州バートウ郡に車載電池工場（年産35GWh）を建設する計画を発表。生産品は現代自動車、起亜の現地工場へ供給。

別表：製造業分野における韓国企業の対米直接投資事例（2023年1月～2024年9月）

年・月	韓国企業名	総投資額	概要
2023年5月	アイセンス	約360億ウォン	血糖値測定器メーカーの同社は同業のアガマトリックスを買収。アガマトリックスの販売網を利用し、米国・欧州での拡販を目指す。
	サムスンディスプレイ	2億1,800万ドル	有機ELディスプレイ・メーカーのイーマージンの買収を決定。イーマージンは主に、クロスリアリティー（XR）機器向けのマイクロ有機ELディスプレイを生産。サムスンディスプレイは買収によりXR関連事業を強化する狙い。
	ネクセンタイヤ	約13億ドル	初の米国タイヤ工場を同国南東部に建設する計画を発表。生産量は1日当たり3万1,200本で、2028～29年の稼働を目指す（工場立地は未決定の模様）。
	CJ第一製糖	－	同社傘下のシュワンズカンパニーのピザ工場（カンザス州）の規模を約2倍に拡大したと発表。拡大する米国冷凍ピザ市場を取り込むため、「レッドバロン」ブランドの生産能力を増強。
	ハノンシステム	4,000万ドル以上	自動車用空調・熱制御機器製造の同社は、ジョージア州にEV用空調システム製造拠点を建設すると発表。製品は州内で建設中の現代自動車のEV専用工場に供給する計画。
	現代自動車、LG エナジーソリューション	43億ドル（両社合計）	ジョージア州ブライアン郡に車載電池工場（年産30ギガワット）を建設。生産品は現代自動車、起亜の現地工場へ供給。
	ハンファエアロスペース	5,000万ドル	二次電池の寿命を延ばす精密ナノコーティング技術を持つスタートアップ・フォージナノに出資。アーバンエアモビリティ（UAM）、エネルギー貯蔵システム（ESS）などの事業とのシナジー効果を狙う。
2023年6月	SKシングネット	－	EV充電器メーカーの同社は、テキサス州プレイノ市にEV充電器工場（年産1万基）を竣工。米国市場の開拓を目指す。
	エンケム	1億5,250万ドル	ジョージア州に次ぐ米国第2の生産拠点としてテネシー州ブラウンズビルに電解液工場を建設。インフレ削減法により電解液の現地調達が必要となったことへの対応。製品は、LGエナジーソリューション・SKオンの現地二次電池工場向けなどに供給する予定。米国での生産能力拡大で世界トップの電解液メーカーを目指す。
	大熊製薬・ハノル バイオファーマ	－	パーキンス病新薬開発企業のビンシア・バイオサイエンスに出資。投資を契機に3社はパーキンス病治療薬開発の協力を強化。
	大象	380億ウォン	キムチ・ソース類などを製造するラッキー・フーズを買収。これら製品の米国市場での一層の拡販を目指す。
	SKテレコム	1億ドル	電動垂直離着陸機（eVTOL）メーカーのジョビー・アビエーションの株式の2%を取得。アーバンエアモビリティ（UAM）事業での協力強化を狙う。

別表：製造業分野における韓国企業の対米直接投資事例（2023年1月～2024年9月）

年・月	韓国企業名	総投資額	概要
2023年7月	LSエレクトリック	－	同社初の北米生産拠点となる配電システム生産工場をテキサス州バストロップ郡に建設。韓国企業の米国生産拠点の増加により、工場に必須の配電システムの需要が急増していることを受けた措置。
	LG電子	－	初の海外EV充電器工場をテキサス州フォートワース市に建設。急拡大する米国EV充電器市場の取り込みと、全米EV充電プログラム（NEVIフォーミュラプログラム）による補助金獲得を狙う。
	サムスンSDI	－	ステランティスとの合弁でインディアナ州コーコモーに第2工場（年間生産能力34GWh）を建設するMOU（了解覚書）を締結。2027年稼働を目指す。なお、両社は同地で第1工場（33GWh、2025年稼働予定）を建設中。
2023年8月	ハノンシステム	1億7,000万ドル	テネシー州ルードン郡でEV向けの空調・熱制御機器生産工場を新設。
	SKバイオサイエンス	8,450万ドル	製薬会社ノババックスへの出資について同社と契約を締結。同社との戦略的パートナーシップ関係強化を目指す。
2023年9月	CJフードビル	500億ウォン以上	米国初の工場をジョージア州ホール郡に建設、2025年完工を目指す。米国で店舗展開中のベーカリーチェーン「トゥレジュール」向けの冷凍パン生地・ケーキを生産する予定。
	ダス	3,500万ドル	自動車部品メーカーの同社は、ジョージア州キャンドラーに工場を建設すると発表。州内で建設中の現代自動車EV専用工場や起亜のジョージア工場に自動車用シート部品などを納品する計画。
	SKC	－	半導体パッケージング事業を営むスタートアップのチップレッツが実施したシリーズBラウンドの資金調達に参画し、同社の株式約12%を取得すると発表。半導体後工程事業拡大を目指す。
	SK	－	グループ持株会社の同社は、米国現地法人SKファームテクが細胞・遺伝子治療の開発製造受託（CDMO）企業のセンター・フォー・ブレイクスルー・メディシンズ（ペンシルベニア州）を買収したと発表。
2023年10月	LG化学	－	ジョージア州に「北米イノベーション・センター」を開所。北米地域で、次世代電池素材・リサイクリング・バイオプラスチック関連の研究開発力を強化し、優秀な人材を発掘する狙い。
	サムスンSDI	5,908億ウォン	同社の米国現地法人スタープラス・エナジーに追加出資。目的は現地法人の設備投資資金確保。
	ロッテバイオロジックス	8,000万ドル	ニューヨーク州のシラキューズ工場に抗体薬物複合体（ADC）生産施設を増設。2025年第1四半期（1～3月）に生産開始予定。

別表：製造業分野における韓国企業の対米直接投資事例（2023年1月～2024年9月）

年・月	韓国企業名	総投資額	概要
2023年11月	LG電子	－	冷暖房空調製品の研究・開発のため、アラスカ州アンカレッジに「LGアラスカ・ヒートポンプ研究所」を新設。北米・欧州市場を中心に、個別仕様の冷暖房ソリューションで空調市場を攻略する計画。
	現代自動車グループ	－	グループ傘下で都市航空交通システム（UAM）開発を行う米国法人・スーパーナルが、電動垂直離着陸機（eVTOL）の製造工場建設計画を発表。2028年の商業サービス開始を目指す。
	ブルムウォン	－	カリフォルニア州の生麺製造工場の生産ラインを増設。合わせて、従来の韓国から半製品を輸入して米国で加工する方式から、米国で一貫生産する方式に変更し、米国市場のニーズ変化や物流費削減によるコスト低減を図る。
	ハンファソリューション	－	同社が最大株主となっているRECシリコンが、ワシントン州モーゼスレイク工場のピリシリコン生産を再開。生産品は、ハンファソリューションのジョージア州の太陽電池モジュール工場に供給。インフレ削減法の「先端製造生産比例税額控除」を期待。
2023年12月	LG化学	9,385億ウォン	テネシー州モンゴメリー郡クラークスビルにおける正極材工場建設のため、米国子会社に追加出資。インフレ削減法に対応したサプライチェーン構築を目指す。
	三養ホールディングス	3,300億ウォン	テキサス州所在の化学素材メーカーのバーダント・スペシャルティ・ソリューションズを買収。パーソナルケア事業の強化を狙う。
	SKハイニックス	－	カリフォルニア州の現地法人SKハイニックス・アメリカにNAND型フラッシュメモリーの研究・開発（R&D）組織を新設。現地の人材を確保し、技術拠点として育成する狙い。
2024年1月	農心	－	2022年に建設したカリフォルニア州ランチョクカモンガの米国第2工場のカップラーメン生産ラインを増設。成長する米国市場でシェア拡大を目指す。
	ハン・アンド・カンパニー	3,500億ウォン	プライベートエクイティ企業の同社は、医療機器メーカーのサイノシュアーの全株式を取得。買収済みのルートロニックと合併し、総合医療機器メーカーに育成する計画。
	LGエナジーソリューション	－	二次電池開発のベンチャー企業のサイオン・パワーに出資。次世代電池のリチウムメタル電池の技術獲得を狙う。
	サムギEV	67億ウォン	車載電池部品メーカーの同社は、現地化推進に伴う生産拠点拡張のため、米国現地法人に追加出資。
2024年2月	ミコバイオメッド	86億ウォン	医療診断機器製造・販売を行う米国現地法人の財務構造改善のため、現地法人に追加出資。
	イージーバイオ	467億ウォン	飼料添加剤事業の競争力強化のため米国現地法人に追加出資。

別表：製造業分野における韓国企業の対米直接投資事例（2023年1月～2024年9月）

年・月	韓国企業名	総投資額	概要
2024年3月	現代ロテム	－	米国での鉄道車両製造の新工場を建設、早ければ2024年内に工場着工予定。ロサンゼルス郡都市圏交通局からの鉄道車両約8,688億ウォン分の受注に対応するとともに、北米での事業拡大のための拠点にする狙い。
	LG電子	6,000万ドル	人工知能（AI）ベースの自律走行サービスロボット事業を営むスタートアップのペアロボティクスに出資する契約を締結、LG電子は最大株主に。LG電子が今後の事業の柱の1つとして育成している商業用ロボット事業を強化する狙い。
	サムスン物産、サムスンバイオロジックス、サムスンバイオエピス	－	抗体薬物複合体（ADC）関連技術を保有するバイオ企業のブリックバイオに、韓国国内の「ライフサイエンス・ファンド」経由で出資。ブリックバイオが保有する技術を基に、従来、対応できていなかった物質の開発に活用する予定。
	LSグループ	－	同グループの米国現地法人でマグネットワイヤ・通信ケーブル製造のスーパーリアエセックスは、古川電気工業の現地法人と合併会社「エセックスフルカワ・マグネットワイヤ」を運営してきたが、古川電気工業側の持分39%全量の譲渡を受けることで合意。
2024年4月	LGエナジーソリューション	－	GMとの米国合併会社アルティウム・セルズ第2工場（テネシー州スプリングヒル）が稼働開始。今後、段階的に稼働ラインを増やし、生産能力は最終的に50GWhに拡大の予定。製品は「キャデラック・リリック」など、GMのEV新モデルに搭載。
	LGエナジーソリューション	7兆2000億ウォン	北米地域で2番目の独資工場となるアリゾナ工場を着工。円筒形電池、エネルギー貯蔵システム（ESS）用LFP電池を生産する予定。（その後、2024年6月に、ESS用LFP電池工場の建設が一時中断と報道されている。）
	SKハイニックス	38億7,000万ドル	次世代の高帯域幅メモリー（HBM）・DRAMなど向けの先端パッケージング製造・研究開発施設をインディアナ州ウェストラファイエットに建設すると発表。
	セア商域	－	衣類製造輸出企業の同社は、スポーツウェアメーカーのテグラを買収する契約を締結。スポーツウェア製造の競争力強化を目指す。
	SKシルトロン	－	半導体材料のシリコンウエハー製造の同社は、次世代パワー半導体材料のシリコンカーバイド（SiC）ウエハーを生産するミシガン州の工場を増設。州政府が7,700万ドルの補助金・税額控除で支援。
	サムスン電子	450億ドル	投資額を当初発表の170億ドルから450億ドルに増額へ。ファウンドリ工場を追加建設し、先端パッケージング、研究開発施設も構築。
2024年5月	サムスン物産、サムスンバイオロジックス、サムスンバイオエピス	－	サムスン・グループ3社は韓国国内の「ライフサイエンス・ファンド」経由で、遺伝子治療剤開発のラトゥスバイオに出資。
	世亜ベスチール持株、世亜昌原特殊鋼	2,130億ウォン	両社共同で米国市場向け特殊鋼生産拠点構築のための現地法人を設立。2026年竣工を目標に年産6,000トン規模の工場を建設する計画。
	サムスン電子	－	冷暖房空調企業のレノックス・インターナショナルと合併法人（テキサス州ロアノーク）の設立契約を締結。北米の空調市場での拡販を目指す。

別表：製造業分野における韓国企業の対米直接投資事例（2023年1月～2024年9月）

年・月	韓国企業名	総投資額	概要
2024年6月	チャバイオテック	-	今後の細胞治療製品・遺伝子治療製品の受注増を見越し、米国内に第2工場を建設する計画を発表。
	現代モービス	-	オハイオ州トレドに電動化ビジネスの現地法人を設立。バッテリーシステムや動力伝達システムを完成車メーカーに供給する役割を担う。
	暁星重工業	-	テネシー州メンフィスの超高压変圧器工場の生産能力を約2倍に拡張する計画を発表。米国内での電力網補強事業の受注拡大を目指す。
	ハンファオーシャン（旧 大宇造船海洋）、ハンファシステム	1億ドル（ハンファオーシャン4,000万ウォン、ハンファシステム6,000万ドル）	2社それぞれの米国現地法人を通じ、ペンシルベニア州フィラデルフィアのフィリー造船所の全株式を買収する契約を締結。米国の商船市場・防衛用艦艇市場に進出する足がかりとする考え。
コスマックスNTB	63億ウォン	健康補助食品の開発・製造の同社は、米国現地法人の財務構造改善、流動性確保のため、米国現地法人に追加出資。	
2024年7月	LS電線	6億8,275万ドル	バージニア州チェサピークに米国最大規模の海底ケーブル工場を建設すると発表。2025年に着工し、2027年に完工の予定。今後10年間で年率30%増が期待される米国海底ケーブル市場の先取りを目指す。バージニア州政府から4,800万ドル規模の補助金と税制優遇を、エネルギー省から9,900万ドルのインフレ削減法支援をそれぞれ受ける見通し。
	世亜グループ	1億1,000万ドル	テキサス州テンプル市に特殊合金製造工場を建設する計画を発表。成長する北米市場の取り込みを狙う。
	サムスン電子	-	DNA分析装置開発・製造のエレメントバイオサイエンスに出資。サムスン電子の人工知能（AI）、医療機器、デジタルヘルス技術を基に、エレメントバイオサイエンスのDNA分析技術を融合し、新しい事業の機会を模索する計画。
	トンジンセミケム、サムスン物産	1,400億ウォン	トンジンセミケム、サムスン物産、米国マーティンによる合併会社DSMセミコンがテキサス州で半導体用高純度硫酸工場を竣工。
	SKバイオサイエンス	200万ドル	バイオ企業サンフラワーセラピューティクスに対する出資契約を締結。サンフラワーセラピューティクスの保有技術を活用したワクチン工程の最適化を狙う。
	ソルブレイン	2,400億ウォン	テキサス州でリン酸工場の建設を開始。製品の大部分はサムスン電子が同州で建設する半導体工場に供給。
2024年9月	現代建設機械、現代インフラコア	-	両社はジョージア州ブランズウィックに「HD 現代統合カスタマイゼーション・センター」を開設。韓国で生産した半製品を同センターで顧客仕様に組み立てる方式。米国の建設機械市場での拡販を狙う。
	ハンセ実業	-	繊維企業テクソリーニを買収。合成繊維の生産技術力を強化するとともに、業界で拡大しているニアショアリング戦略の流れに対応し、ハンセ事業の中米生産拠点との連携を強める狙い。

注1：社名・内容は、発表・報道時のものに基づく。本表は、米国での投資案件を幅広く掲載しており、全てが韓国からの直接投資を伴うわけではない。

注2：1ウォン=約0.11円。

出所：各社プレスリリース、各種韓国メディア報道を基に作成